

# 観光文化スポーツ部

## 産業観光委員会

### 【所管関係資料】

11月26日提出

令和6年第2回定例会（12月議会）  
産業観光委員会・分科会  
所管事項関係提出資料

令和6年11月26日  
観光文化スポーツ部

【所管事項関係】

交通政策課 秋田新幹線新仙岩トンネル整備計画に係る調査結果等について・・・・・・・・・・・・・・・・

3

## 秋田新幹線新仙岩トンネル整備計画に係る調査結果等について

交通政策課

J R 東日本との協定に基づき秋田新幹線新仙岩トンネル整備計画区間（赤湊駅～田沢湖駅間）において実施した地質等の調査と、当該調査に基づく事業費等の再算出の結果について、次のとおり同社から概要の報告を受けた。

### 1 調査の概要

- ・整備計画の具体化に向けて、令和3年10月から令和6年3月までボーリング調査（4地点）や弾性波探査（3測線、5.4km）等を実施し、地質の強度や構造、岩等の種類・硬さなどを測定した。
- ・調査地点により、軟質な砂岩部が存在し地盤の強度が低い箇所がある一方で、硬質な泥岩等が分布し地盤の強度が高い箇所も確認された。

### 2 事業費・工期の再算出

算出時期	平成30年	令和6年
事業費	約700億円	約1,000億円
工期	着工から約11年	着工から約15年

### 3 J R 東日本の見解

- ・調査の結果、大幅な計画変更の必要性は認められなかったものの、物価高騰や働き方改革の影響により事業費が増加し工期も延伸せざるを得ない。
- ・J R 東日本単独での整備は経営への影響が大きいため、整備・保有主体のあり方を含め、県との連携をお願いしたい。

### 4 今後の対応

事業費や工期について内容を精査するとともに、J R 東日本の費用負担額とその考え方を確認した上で、事業スキーム等の検討を行う。

また、県、整備促進期成同盟会及びJ R 東日本秋田支社で締結した連携協定に基づき、トンネル整備の効果を最大限に高める取組を推進していくとともに、国に対しては、こうした整備効果を示しながら、支援の具体化に向けた働きかけを強めていく。